

■令和4年度 八戸市健康福祉審議会 健康・保健専門分科会 会議録

日 時	令和5年1月25日(水) 14:00~14:45
場 所	八戸市総合保健センター 1階 大ホールほか (オンライン会議システム Zoom を使用したオンライン開催)
出席委員	小倉 和也 専門分科会長 小沢 久美子 副専門分科会長 石橋 さつき 委員 木村 和彦 委員 熊坂 覚 委員 伊藤 恵美子 委員 山本 恵鶴子 委員 以上7名
欠席委員	なし
事務局	秋山健康部長、工藤保健所長、小笠原保健所副所長兼保健総務課長、 四戸健康づくり推進課長、田端健康推進 GL、下斗米成人保健 GL、 沼岡主幹、角浜保健師、上山栄養士、北川保健師、武田保健指導員、 小山内看護師 以上12名
議 事	1 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について 2 各団体の健康づくりに係る取組状況について 3 健康はちのへ21 ポイントアプリ事業について 4 その他
結果概要	資料のとおり事務局から説明 議事1 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況につ いては、目標項目の実績と取組状況について承認された。 議事3 健康はちのへ21 ポイントアプリ事業について承認された。 (以下、議事詳細)

▼会議内容

■ 次第

- 1 開会
- 2 専門分科会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について
 - (2) 各団体の健康づくりに係る取組状況について
 - (3) 健康はちのへ21 ポイントアプリ事業について
 - (4) その他
- 4 閉会

■ 専門分科会長あいさつ

本日は、八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況等をご審議いただきたいと思っております。委員の皆様からご意見を頂戴してこの計画を推進し、市民の健康づくりを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第に従いまして議事を進めてまいります。

■ 議事の概要

議事1として、資料1～3に基づき、八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について事務局から説明を行った。

議事2として、各団体の健康づくりの取組状況について、各委員から説明を行った。

議事3として、資料4に基づき、健康はちのへ21ポイントアプリ事業について、事務局から説明を行った。

最後に議事4として、その他で質問・意見交換を行った。

■ 各団体の取組状況

⇒小沢久美子副専門分科会長

八戸学院大学の小沢です。よろしくお願いいたします。本学の健康づくりに係る取組状況ということで、2つご紹介させていただきます。まず学生の健康管理についてですが、各学年、毎年4月に定期健康診断を行っておりまして、その後、精密検査が必要な健診結果であっても結果を受け取りに行かなかつたり、受診しなかつたりする学生がおります。また熱はないですが、頭痛が続いているとか、吐き気がして食べられないとか、お腹が痛いとかで欠席が続く学生もおります。これらは学業や人間関係のストレスとか緊張とか、あるいは大学生ですので親元から離れて一人で暮らすこと、不慣れな地域で暮らすことへの生活の変化が原因である場合も多くあります。このような学生の健康相談・支援について、本学では数名の学生を担当して学習とか、授業および学生生活の支援と、日常的な相談も対応しているカレッジアドバイザーと呼ばれる担当教員がおりますので、その教員が学生の話聞いて精密検査が必要な学生には受診を勧めて、自己の健康管理ができるようにしております。また学生のメンタルヘルスの支援については、リストカットであったりとか、死にたいとか、そこまで言ってしまう学生もおりまして、担当教員だけでは対処しきれないことも多いです。本学では専門的見地から相談を要する学生に対応するために、心理学とか医療・福祉専門職で構成する学生相談・特別支援室というものを設置して相談を受け付けて支援をしております。また学内に非常勤のスクールカウンセラーを配置しまして、定期的にカウンセラーの支援が受けられるようにしております。さらに健康医療学部の教員である学校医の相談を迅速に受けられる環境となっております。適切に学生のニーズに応えられるような相談支援体制の強化を図っております。相談受付も保健室だけでなく、Eメールで24時間予約が可能というふうにして

おりまして、学生にとっても申し込みしやすい環境となっております。

2つ目ですけれども、飲酒・喫煙に関する教育についてです。毎年度、4月のオリエンテーション時に学生生活に関するガイダンスにおいて、飲酒・喫煙に関する健康被害について説明を行っております。また喫煙については、喫煙及び副流煙による健康被害を防止する観点から、2017年以降本学のキャンパスは全面禁煙化に本格移行して喫煙対策をとっております。以上です。

⇒石橋さつき委員

江陽小学校では毎年1回ですけれども、学校保健委員会というのを開いております。その年の学校課題とか児童の実態に合わせてテーマを決めて、児童の保健委員会とそれから私たち指導者と一緒に全校で一つのテーマに向かって学習する時間があります。今年は本校の学校長の経営目標の中に自己肯定感を高めるというのがありましたので、そこをテーマにやってみたいと思って計画しました。狙いですが、脳には本能的に身を守ろうとする古い脳、それからルールや決まりを守ろうとする新しい脳があるそうです。思春期にはこの古い脳の爆発が起こりやすくて、いわゆる切れた状態。それから新しい脳の力が弱いと、この古い脳の力が強く爆発してくるということで、何とかこの古い脳の切れる状態を鎮めるようにならないものかと思って考えてみました。心が柔軟な小学生の時期に新しい脳をトレーニングするととても効果があるということです。ワークシートを通じて心を悩ませてうんと働かせて新しい脳を育てるということを狙いにし、「〇〇ってなかなかだ」というテーマで行ってみました。〇〇の中には自分の名前が入ります。お友達の良いところをたくさん見つけようという気持ちで、お友達を見つめ直して、それからその友達から褒められた自分、こんなにたくさん良いところがある自分、みんなに認められる自分、という優しい気持ちで自己肯定感が高まる体験をしてみました。子供たちのアンケートの中には、友達からたくさん良いところを出してもらってとっても嬉しかった、ポカポカしてきた、涙が出そうになった、とても素敵な笑顔と良いワークシートの感想が出てきたので、とても良い体験ができたなと思っています。以上です。

⇒木村和彦委員

わが社が最近やり始めた対策として、年に1回市内の外部団体のフィットネスクラブのスタッフの方に会社に来ていただいて、従業員の健康チェックを行っています。具体的には血管年齢を調べたり、握力測定、柔軟性を図る運動ですね、そういったものをやったりしています。あとは健康診断の再検率をアップさせようということで、担当は総務部でやっているのですが、そこでその再検率の目標ですね、数値目標を掲げて、可能な限り社員たちに働きかけていく、というような対策をとっています。ただうちの職場はですね、

非常に勤務形態とか勤務時間がバラバラで、なかなか社員一同にということは厳しいですし、健康に関しては従業員個々に対応してくれという基本的なスタンスはそうですが、これからですね今結構全国の企業で会社運動会みたいなのをやって健康づくりもそうなのですが、会社として一体感を出していこうという取り組みも出ているというので、これから月に1回休肝日というのもあるので、そういうことも計画してみたいなと思っています。以上です。

⇒熊坂覚委員

歯科医師会ではですね、今までの行政事業の継続はもちろんですけれども、本年度からですね、まだ理事会の中でも具体的な話がどんどん進んでいるわけではないですけれども、昨年度まで口腔の健康なくして体の健康は絶対にあり得ない、そういうデータが山ほど出てきております。例えば歯周病に関しても、その歯周病菌からくる動脈硬化であるとか、脳梗塞それから心筋梗塞、心筋梗塞や脳梗塞で運ばれる方で口の中が非常に健康な方がいないのだというデータですとか、それから肺がん転移に関して口の中のミュータンス菌が、非常に関わりがあるという新しい研究もどんどん出てきておまして、その口腔の健康を維持できずに体全体の健康は絶対に維持できないという前提で、様々な啓蒙だとかそういうことを市民に対して行っていくべきじゃないのかということこれから考えていくということになっております。ですから先ほど私、細かいことを言いましたけれども、例えば歯周病検診一つをとっても、歯周病検診に積極的にいらっしゃる方で不健康な方っていらっしゃらないです。気が付いてその検診を受けてみようという関心を、自分の口腔に対して関心を持っている方こそ非常に健康維持できるということで、運動の根本になるのも実は噛み合わせだったり、そういうその口の中の問題、心と体の健康を維持するためには口腔の健康がもう絶対に必要不可欠なのだということこれからどんどん前面に押し出していきたいなというふうに考えております。以上です。

⇒伊藤恵美子委員

毎年ですね、健康パネル展において、減塩レシピや減塩のコツについて展示させていただいておりました。これについては継続していきたいなと思っております。また県の栄養士会の方では減塩レシピ集ということで作成のほう押し進めておりますので、出来上がりましたらお知らせしたいなと思います。以前は親子料理教室のほうを開催しておりましたが、コロナ禍において今実施できていない状況であります。今日、報告にありました第2次健康はちのへ21のほうでも肥満が増えている、あと循環器疾患に対してということで、栄養・食生活について各職域や地域の中で活動のほうをこれからも進めていきたいと思っております。以上です。

⇒山本恵鶴子委員

私は特に仕事して家庭にいるだけなので、一般市民としての話しかできないですが、私は6人家族で70歳台から6歳までいるのですが、夫が75歳になって、最近、出歩くことが少なくなったら足が衰えて、これじゃいけないと思って、なるべく階段とか歩くように努めさせているところです。私は65歳ですが、3か月前からフィットネスで泳ぎ始めました。そしたら仕事していても肩こりがなかったり、とても体調が良くて、皆さんも本当、仕事が終わってから週に3回くらい、1時間泳ぐくらいですけど、とても良いのでこういうコロナ禍だからこそちょっと体を動かして、病は気からというので気分を明るくもって過ごすように努めているくらいなのですが、何とかこの冬を元気で乗り切っていこうと思っています。以上です。

⇒小倉専門分科会長

それでは最後に八戸市医師会の取り組みについてお話をさせていただきます。八戸市医師会としましては通常の医療・診療・健康増進の取り組みと、それからコロナ対策等を両方進めているような状態です。通常医療に関しましてはコロナ禍の中で今まで受診控えですとか、それから健診の受診、予防接種の受診が少し少なくなっていたところがありました。徐々にそちらの方も感染対策をしながら回復しつつあるのかなと考えております。健診それから健診後の受診ですね、それも少しずつ通常に近づいてきたと感じていますし、予防接種につきましても、いろいろなプロモーションもあって子宮頸がんワクチン、一時中断していたもの、少しずつ希望者の接種ですとか、それから带状疱疹ワクチンの接種なども行われている状況です。それからコロナの対策につきましても、第8波ということで今まで通り医師会として休日夜間診療所や、基幹病院さんと協力をして発熱外来を各医療機関で行うとともに、必要な医療が提供できるように努めているところですけれども、今後第5類へ移行することに向けては通常のインフルエンザ等と同じような診療体制が各医療機関でできるように準備が必要だと考えておりますので、引き続き準備のほう進めていければと考えております。以上です。

それではみなさま貴重な情報提供ありがとうございました。

■ 質問・意見

1. 木村和彦委員

質問(1)

自殺者の割合ですけども、平成23年、24年のアンケート時から15ポイントぐらいも下がっている。令和2年度というとコロナが始まっている時だったと思うのですが、ここまで下がった要因をどのように分析されているのかというのを伺いたいです。

⇒（回答：四戸健康づくり推進課長）

八戸市では、いのち支える八戸市自殺対策計画を作成しまして、県の方でも相談機関を周知しておりますけれども、それに合わせ市内の相談機関も周知するようしております。そちらの方で相談する方も若干増えてきているのではないかなということと、健康づくり推進課ではないですけれども、ゲートキーパー養成講座等も開催しまして、地域全体で見守るように、声をかけるようにということがされてきた結果ではないかと考えております。

2. 熊坂党委員

質問(1)

歯・口腔の健康のところだけじゃないですけども、例えば歯周病検診の向上で、平成 23 年時に 0.2%だったのが 15.4%と、私たち普段仕事していても最近非常に増えてきていると思っております、これパーセンテージで出すときに平成 23 年時の母数と令和 3 年の母数も知りたいです。例えば、70%だとしたら 10 人に 7 人だとか、1000 人に 700 人だとかニュアンスが全然変わってくるのですけども、パーセンテージだけで出されてもですね、そこをちょっと説明していただきたいと思うのですが、これ他の数値もパーセンテージでずっと出しているじゃないですか。平成 23 年時の様々な項目で、アンケートの母数を書いていたいただきたいというふうに思うのですがいかがでしょうか。

⇒（回答：四戸健康づくり推進課長）

令和 2 年の歯周病疾患の対象者は 13,013 人。そのうちの受診者は 1,665 人で受診率が 12.8%となっております。

質問(2)

例えば歯周病検診が、平成 23 年時に 0.2%って極めて低い数字からスタートしているのですけれども、令和 3 年で 15.4%まで、上がってきているわけですよね。それで、数字・パーセンテージが増えてきましたと言っても、平成 23 年時に 0.2%の母数、ニュアンスが伝わってこないのだからちょっと分からないのですけれども、例えば平成 23 年時の 0.2%が令和 3 年で 15%っていうと。

⇒（回答：四戸健康づくり推進課長）

はい、申し訳ございません。スタート時の分母を今すぐ即答できませんので、後でお知らせしたいと思います。

質問(3)

今国会に提出される予定の、国民皆歯科健診ですね、参議院の山田宏議員が、先頭に立ち

まして国民全員に歯科健診をということで、たぶん閣議決定されれば一定のプロトコルが回ってくるじゃないかなと思うのですけれども、それに関して何か情報とか市の方ではお持ちでいらっしゃいますか。

⇒（回答：四戸健康づくり推進課長）

申し訳ございません。現在のところ持ち合わせてございません。